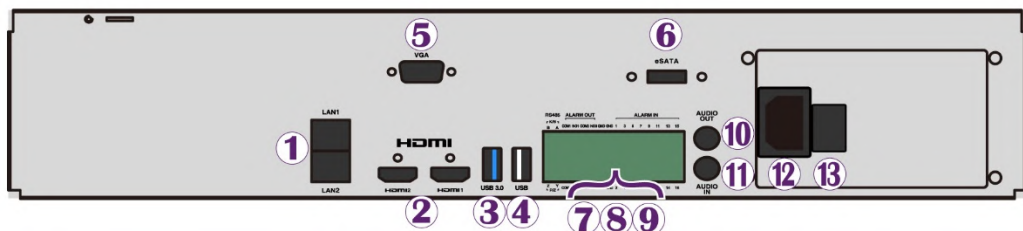
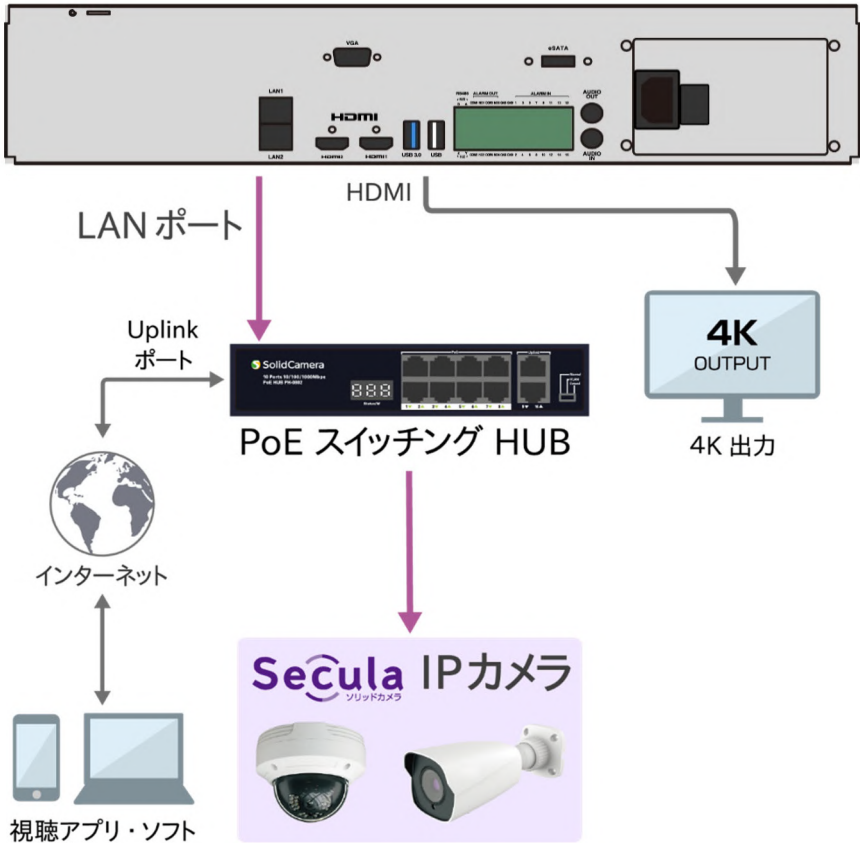


■ NVR の各部名称



①	LAN	ネットワークポート
②	HDMI	HDMI 出力ポート。高精細ディスプレイデバイスへの接続用
③	USB 3.0	USB マウスや USB ストレージデバイスなど外部 USB 接続用
④	USB	USB マウスや USB ストレージデバイスなど外部 USB 接続用
⑤	VGA	VGA 出力ポート。モニター接続用
⑥	e-SATA	バックアップ用外部 HDD
⑦	ALARM OUT	32CH、リレー出力。外部アラーム接続
⑧	GND	接地ワイヤ挿入用 GND
⑨	ALARM IN	32CH、外部センサー対応
⑩	AUDIO OUT	1CH 音声出力、サウンドボックス接続
⑪	AUDIO IN	1CH 音声入力
⑫	AC 電源	AC100～240V 電源入力
⑬	電源スイッチ	電源 ON/OFF

■ NVR の配線



■ NVR の配線方法の種類

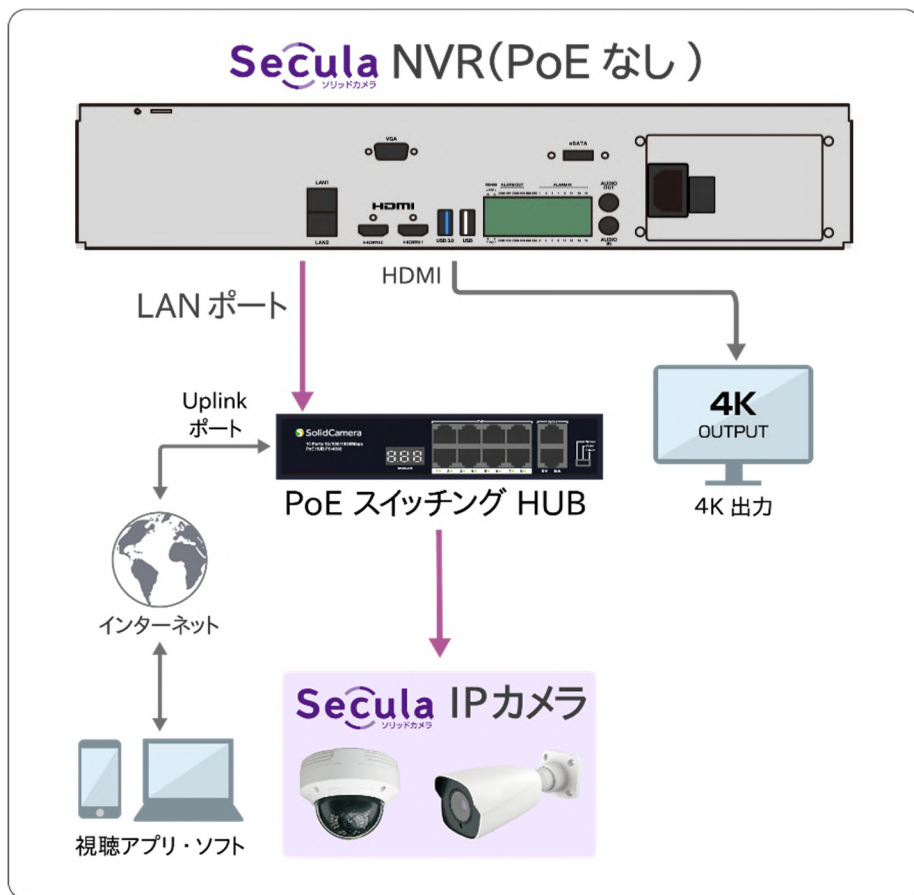
配線方法については以下をご覧ください。配線手順の詳細については、右の QR コードおよび以下の URL より「Secula 配線資料」をご覧ください。

【Secula 配線資料】

<https://www.solidcamera.net/download/file/secula/manual/secula-wiringdoc.pdf>

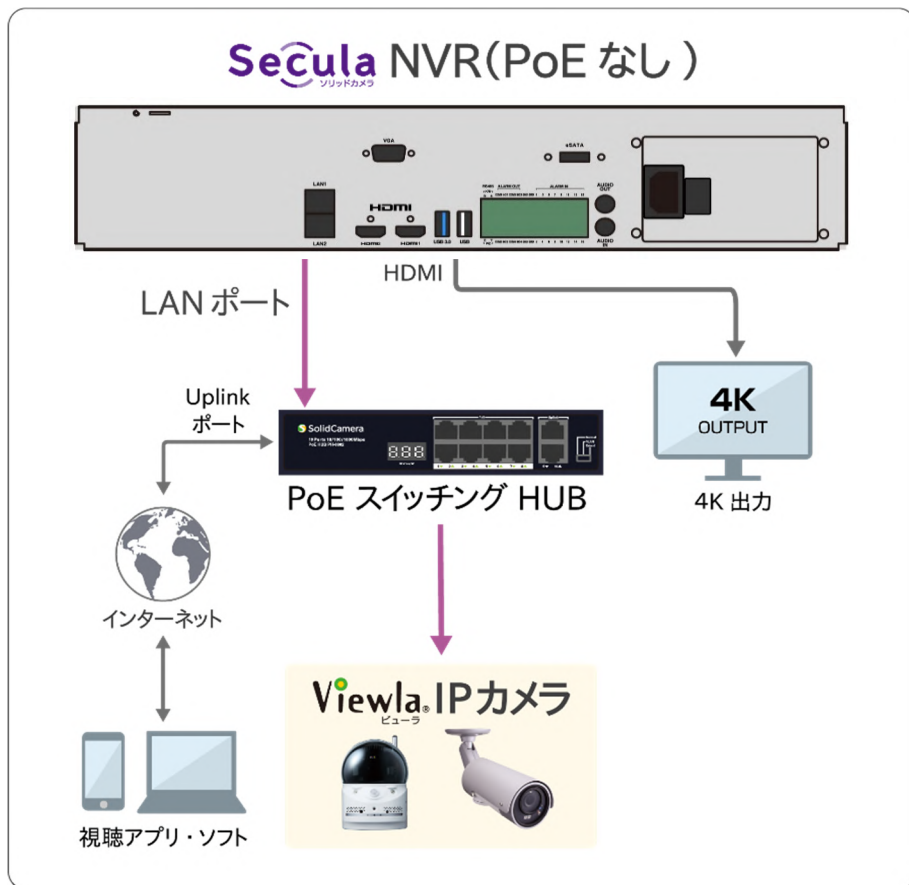


NVR に HUB 経由で Secula IP カメラを接続



- ① Secula シリーズの IP カメラを NVR に接続した PoE スイッチング HUB の LAN ポートにつなぎます。
- ② NVR を接続したモニター上に表示されているオートサーチからカメラを選び、カメラの IP アドレスを NVR に合わせて固定します。
- ③ NVR を接続したモニター上に表示されているオートサーチからカメラを選び、追加します。
- ④ 詳しい手順は「**Secula 配線資料**」をご覧ください。

NVR に HUB 経由で Viewla IP カメラを接続



- ① Viewla シリーズの IP カメラを NVR に接続する前に、IP カメラの WEB 設定を開き、NVR に合わせた IP アドレスに固定します。
- ② IP アドレス固定後、NVR に接続した PoE スイッチング HUB の LAN ポートにつながります。
- ③ NVR を接続したモニター上に表示されているオートサーチからカメラを選び、追加します。
- ④ 詳しい手順は「**Secula 配線資料**」をご覧ください。

■ NVR の設定

- ① [ウィザード設定] をクリックします。




- ② 〈ユーザー名〉と〈パスワード〉を入力し、右下の [次] をクリックします。
【初期値】ユーザー名：admin / パスワード：123456
- ③ 右下の [次] をクリックします。



The screenshot shows the "ウィザード" (Wizard) screen. It has a dark green background with a light green header. The form contains the following elements:

- ユーザー名 (User Name): A text input field containing "admin".
- パスワード (Password): A password input field with masked characters ".....".
- パスワード表示 (Show Password): A checkbox that is currently unchecked.
- 自動ログイン (Auto Login): A checked checkbox.
- Bottom navigation: Two buttons, "次" (Next) and "中止" (Cancel). The "次" button is highlighted with a yellow border.

- ④ NVR に接続されている Secula シリーズの IP カメラがすべて同じ IP アドレスで表示されますが、IP アドレスを上位ネットワークに合わせて固定する必要があります。

IP アドレスの右の  をクリックし、IP アドレスを編集します。

ウィザード

ネットワーク設定 > カメラ追加 > IPアドレス設定 > 接続設定 > ONVIF

No.	アドレス	編集	ポート	プロトコル	行	バージョン	追加
1	192.168.2.102		8999	ONVIF	ONVIF		+
2	192.168.2.106		9008	IP Camera	D041RA	4.1.3.0	+
3	192.168.2.110		9008	IP Camera	T036QE	4.2.1.0	+

残り回線容量: 149 / 160 Mb

再接続 全追加 全削除

No.	IPカメラ名	アドレス	プロトコル	状態	編集	削除
1	[POE1]02TB01	10.151.151.101	IPC	オンラ...		🗑
2	[POE5]02DB01	10.151.151.105	IPC	オンラ...		🗑
3	[POE7]06FA01	10.151.151.107	IP Camera	オンラ...		🗑

前 次 中止

- ⑤ 編集した IP アドレスに表示が変更されていることを確認したら、右端の [+] をクリックし、画面下部のリストに追加します。

ウィザード

ネットワーク設定 > カメラ追加 > IPアドレス設定 > 接続設定 > ONVIF

No.	アドレス	編集	ポート	プロトコル	行	バージョン	追加
1	192.168.2.102		8999	ONVIF	ONVIF		+
2	192.168.2.106		9008	IP Camera	D041RA	4.1.3.0	+
3	192.168.2.110		9008	IP Camera	T036QE	4.2.1.0	+

残り回線容量: 149 / 160 Mb

再接続 全追加 全削除

No.	IPカメラ名	アドレス	プロトコル	状態	編集	削除
1	[POE1]02TB01	10.151.151.101	IPC	オンラ...		🗑
2	[POE5]02DB01	10.151.151.105	IPC	オンラ...		🗑
3	[POE7]06FA01	10.151.151.107	IP Camera	オンラ...		🗑

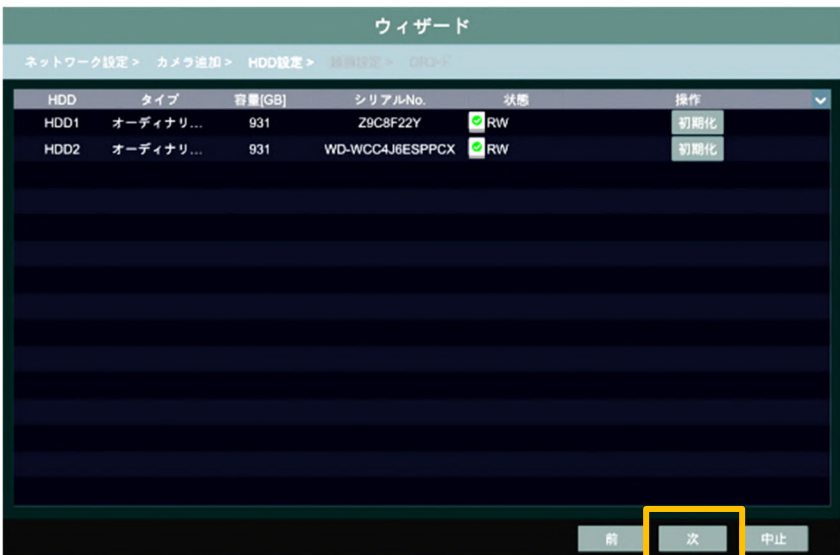
前 次 中止

⑥ 右下の [次] をクリックします。

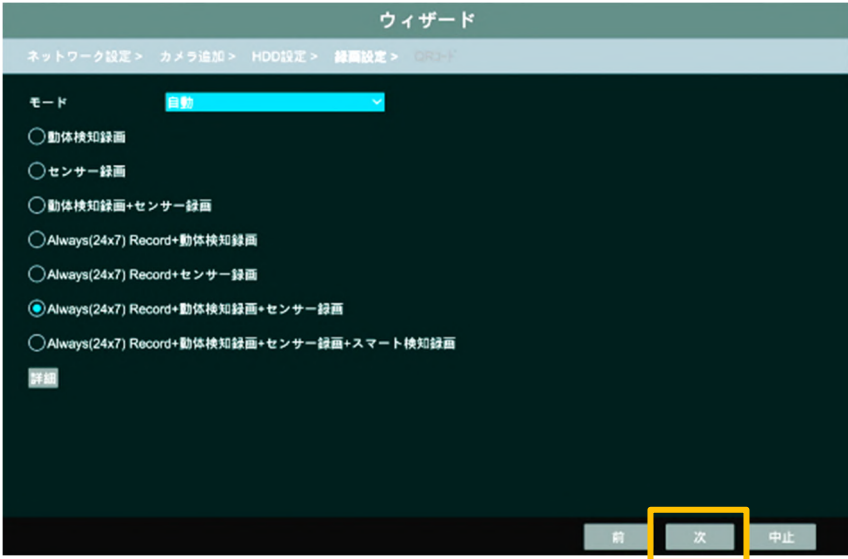


⑦ NVR に取り付けられた HDD が自動で表示されます。
右下の [次] をクリックします。

※お客様ご自身で HDD を取り付けられた場合は、必ずここで「初期化」を行なってください。



- ⑧ 録画設定の画面が表示されます。
〈モード〉を選択し、右下の [次] をクリックします。

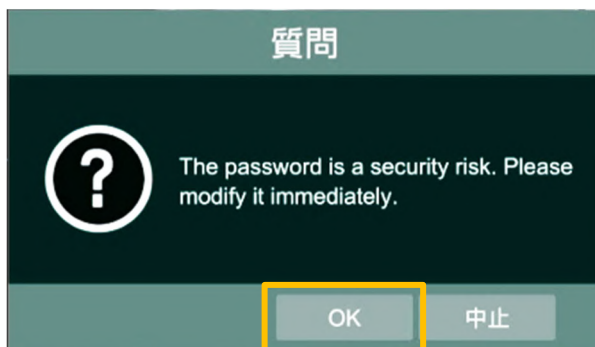


- ⑨ QRコードが表示されます。
リモート再生を使用する場合は必ず〈NAT〉にチェックを入れてください。
右下の [OK] をクリックします。

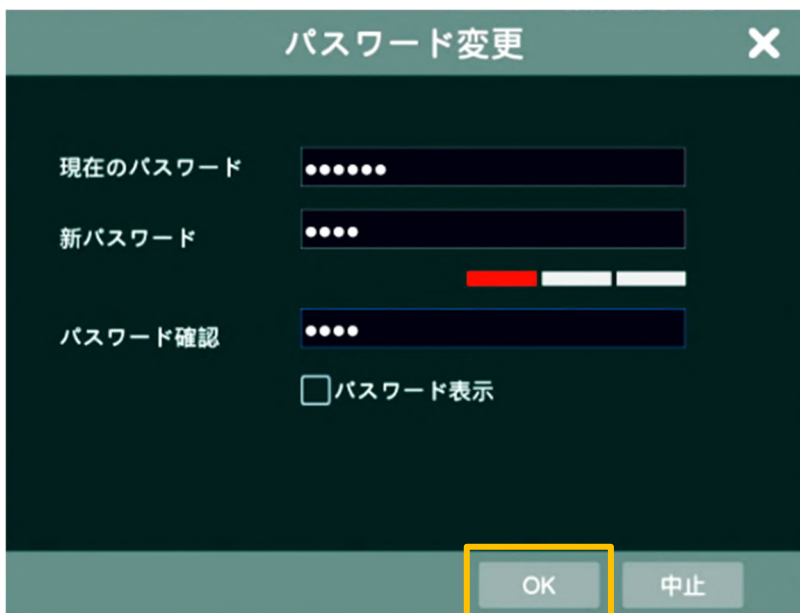
※Super Live Plus アプリで QR コードを読み取ると、簡単に NVR を登録できます。



- ⑩ パスワード変更を求める画面が表示されます。
[OK] をクリックします。
※ [中止] をクリックするとスキップできます。



- ⑪ 〈現在のパスワード〉を入力します。
※初期値の場合は「123456」です。
〈新パスワード〉と〈パスワード確認〉に変更したいパスワードを入力します。



※「自動定期再起動」の設定をご確認ください※

初期設定では「自動定期再起動」の機能が有効になっています。

初期値では 10 日間に1回、23:59 に NVR が再起動します。

再起動中は約3～4分間録画が停止いたします。

設定の変更が必要な場合は [システム] > [メンテナンス] > [自動メンテナンス]
より値を変更してください。

ログ 初期設定 更新 バックアップと復元 **自動メンテナンス**

自動メンテナンス

有効

日付間隔 日

時間 ⌚

適用


「自動定期再起動」は NVR が正常に長く動作するための大切な機能です。
再起動によって、一時的な不具合の解消や動作の安定につながります。
可能な限り「有効」でご使用いただくことを推奨いたします。

■ メニューについて



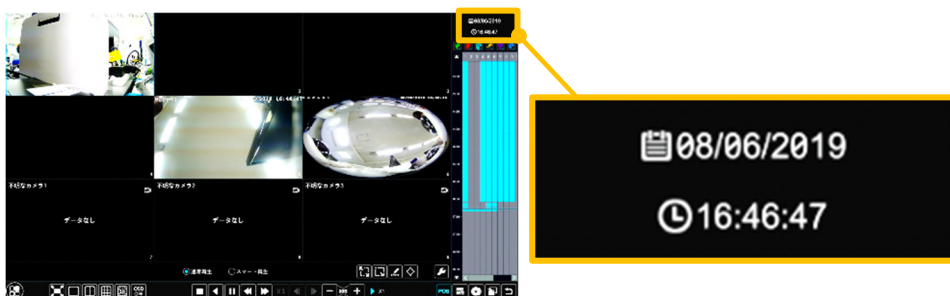
カメラ	カメラの追加や編集をする際に使用します。
録画	録画の画質設定やスケジュールを設定する際に使用します。
検知/アラーム	動体検知等の設定をする際に使用します。
HDD	HDD の管理を行う際に使用します。
ネットワーク	ネットワークを設定する際に使用します。
ユーザー権限	ユーザーの追加や編集、パスワードの編集を行う際に使用します。
システム	システム設定を行う際に使用します。

■ 録画再生の手順

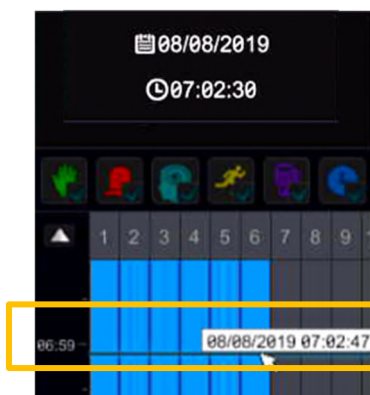
- ① 画面右下の  (再生ボタン) をクリックします。



- ② 画面右側に録画データのバーが表示されます。
右上の日付や時刻をクリックすると時刻指定ができます。



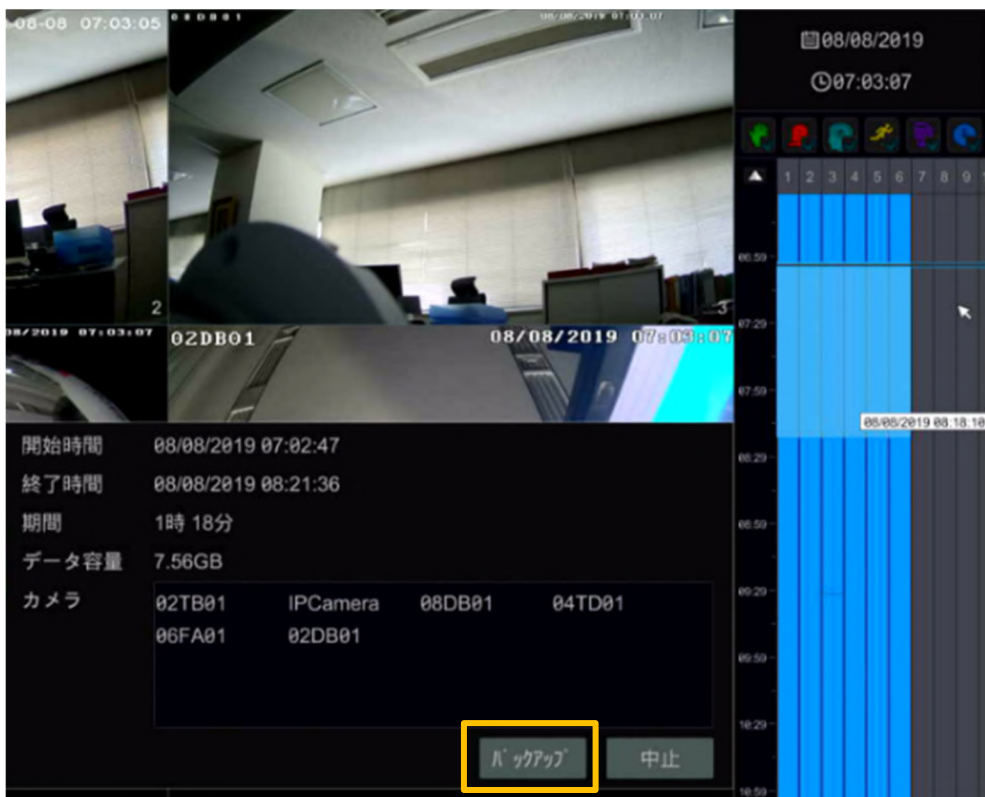
- ③ 録画データのバーの上でクリックすると、ラインと時刻が表示され、その時点からの録画映像が再生されます。



■ バックアップの手順（録画再生のつづき）

※予め、バックアップ先のデバイスを NVR の USB ポートに接続する必要があります。

- ① バックアップしたいカメラと時刻をドラッグで選択します。（カーソルを合わせると時刻が表示されます。）
- ② 水色の選択範囲の上で右クリックすると、選択範囲の情報が表示されます。
- ③ 開始時刻・終了時刻・カメラを確認し [バックアップ] をクリックします。



- ④ NVR に接続されたデバイスが表示されます。バックアップ先のデバイスを選択します。
フォルダーを作成したい場合は [新フォルダー] をクリックし、任意のフォルダー名を入力します。



The dialog box titled "録画バックアップ" (Recording Backup) features a dark green header with a close button (X) in the top right. Below the header, a yellow-bordered box highlights the "デバイス名" (Device Name) dropdown menu, which is currently set to "ExternalStorage1-0000-0100", and a "再読み込み" (Refresh) button. The main area contains a table with the following structure:

空き:931.35 GB,全:931.51 GB			
名前	タイプ	サイズ	日付修正

At the bottom, a "フォーマット" (Format) dropdown is set to "AVI". A yellow-bordered box highlights the "新フォルダ" (New Folder) button, which is the next step in the process. Other buttons include "削除" (Delete), "バックアップ" (Backup), and "中止" (Cancel).

- ⑤ フォルダーを作成した場合はフォルダー名をダブルクリックして開きます。画面左下のフォーマットを選択します。

● **AVI**

AVI 形式のファイルでバックアップされます。(※バックアップされた AVI ファイルは Windows Media Player では再生できません。)

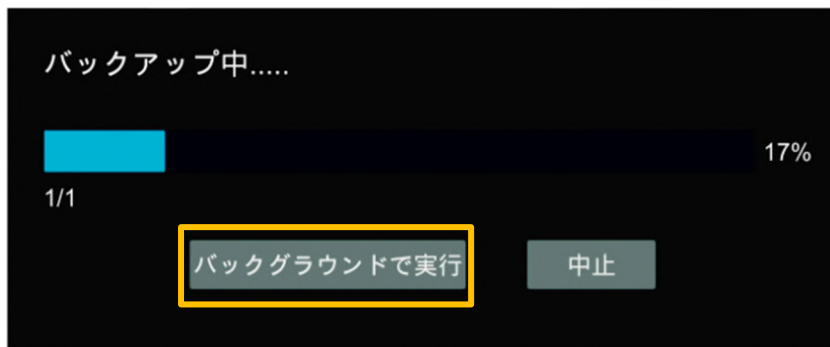
● **個人用**


プライバシーモードです。バックアップされたファイルは、バックアップ時にフォルダーへ同時に保存される専用ソフトでしか視聴できません。

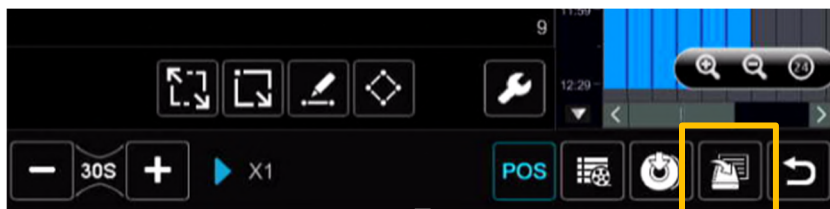
- ⑥ フォーマットを選択したら [バックアップ] をクリックします。



- ⑦ バックアップが開始されます。
[バックグラウンドで実行] をクリックすると、元の録画再生画面に戻ります。



- ⑧ 録画再生画面に戻った場合は、画面右下の  (バックアップ状態) をクリックすると、バックアップの状況を確認できます。

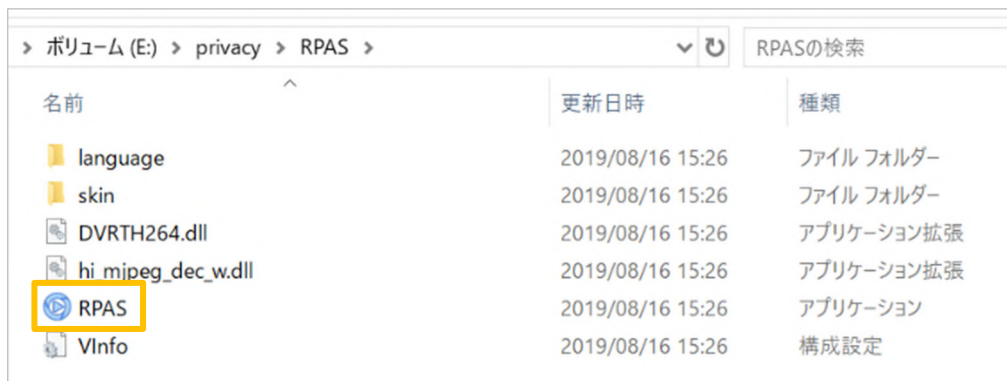


■ 個人用モードでバックアップしたファイルの再生手順

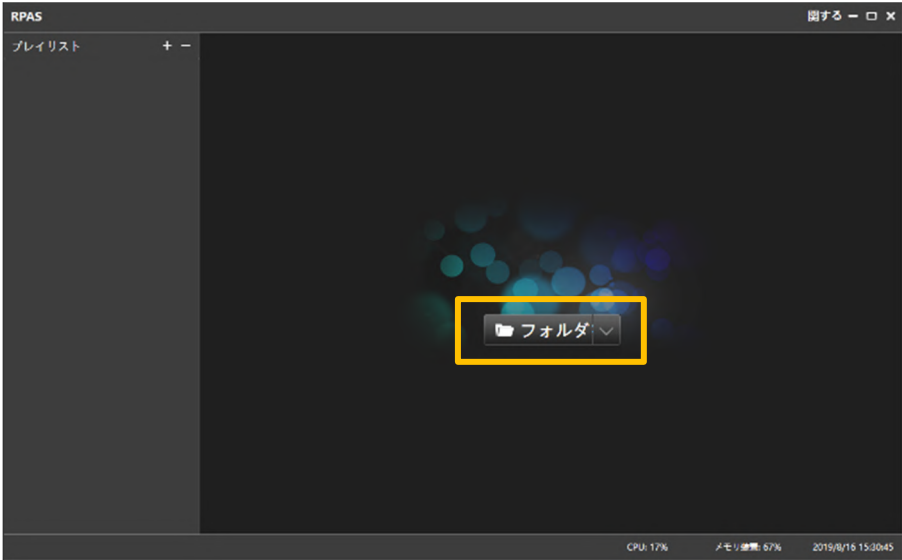
- ① バックアップデータを保存したデバイスを PC に接続し、フォルダーを開きます。
- ② [RPAS] フォルダを開きます。



- ③ [RPAS] アプリを開きます。

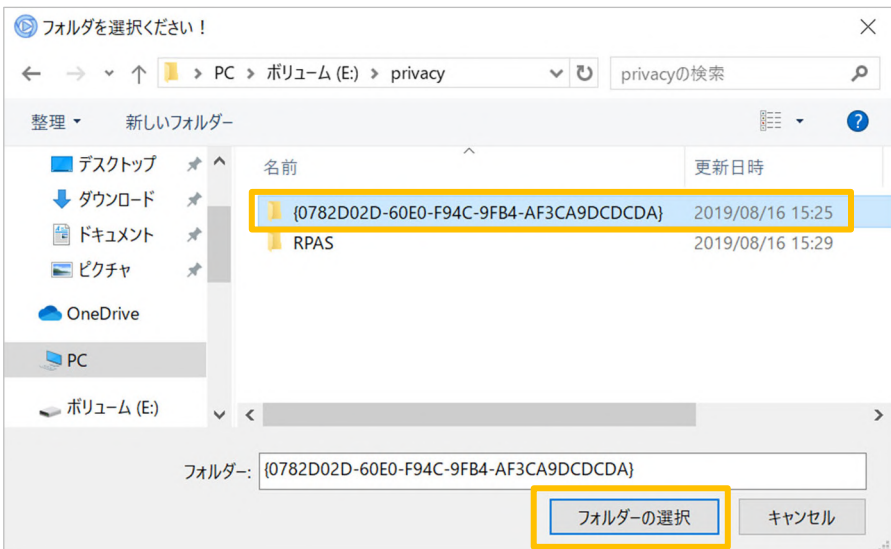


- ④ アプリが起動したら、[フォルダー] ボタンをクリックします。

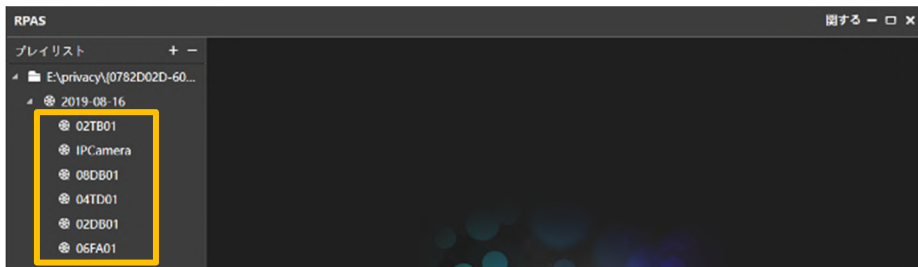


- ⑤ バックアップデータが保存されているフォルダーを開くと、2種類のフォルダーがあります。

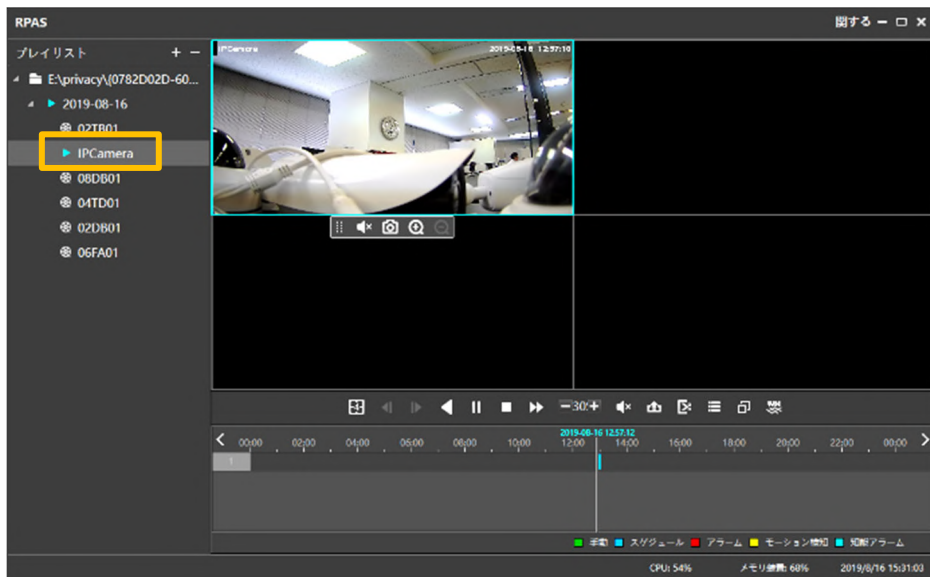
RPAS ではない方のフォルダーを選択し、[フォルダーの選択] をクリックします。



- ⑥ 画面左側にバックアップデータのあるカメラが表示されます。



- ⑦ 視聴したいカメラをダブルクリックするとバックアップデータが再生されます。



■ 日常のメンテナンスについて

弊社製品を長くご使用いただくために、カメラや周辺機器の日常的な定期メンテナンスを推奨しております。

IP カメラや録画機器本体、配線周り、IP カメラのドーム部分の傷や汚れは、映像異常や本体の動作不良にもつながるため、定期的な点検を実施くださいますようお願いいたします。

●カメラについて

カメラの設置箇所は定期的に点検することをおすすめします。

配線箇所は定期的に確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まった状態で湿気などが加わると通電しないなどのトラブルが生じる場合があります。経年変化によりコードにひび割れなどを発見した場合は使用を中止してください。また外的な要因（風雨の煽られによる屈曲やネズミによる咬害など）により、通電不良となる場合がありますのでご注意ください。

なお高所や危険を有する箇所の点検は、専門業者へ依頼することをおすすめします。

●ドームカバーおよびフロントガラス（表面）の清掃

塵、埃、くもの巣などがドームカバーやフロントガラス（表面）に付着した状態のまま放置すると、水分の乾燥などで、これらがこびりつくことがあります。汚れが付着した状態のままでは鮮明な映像を得ることができません。また、赤外線ライト（IR-LED）内蔵カメラについては、汚れの影響で映像が白っぽくなるなどの支障が出る場合があります。その場合、めがねクリーナー等のきめの細かい布で汚れを落としてください。なお、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。表面のコーティングが剥離する場合があります。

ガラスやカバーの表面を清掃しても症状が改善されない場合は、ガラスやカバー内部の付着が考えられます。経年使用により塵、埃、虫などが入り、ガラスやカバー内部に堆積して大切な映像を遮る場合があります。特にドーム（半球状）の透明カバーは、定期的に清掃をすることをおすすめします。

●録画機器について（NVR や NAS 等）

精密機器であるハードディスクは熱に弱いため、高温にならないようファンが搭載されているものがあります。ファンに塵や埃が付着すると機器が十分に冷却できず、故障の原因となる場合があります。また、溜まった塵や埃に湿気などが加わると発火の原因となるおそれがありますので、定期的なファンの清掃（埃等の除去）を行ってください。

●AC アダプターについて

AC アダプターは、しっかりとコンセントに差し込んでください。中途半端に差し込むと、接触不良により発熱し、発火の原因となるおそれがあります。またコンセントの差し込み口は、定期的の確認・清掃を実施してください。塵や埃が溜まり、湿気などが加わると発火する場合があります。狭い箇所で電源タップをご使用になる場合、特にご注意ください。配置によっては無理な屈曲が作用し、被膜内のケーブルが断線する恐れがあります。場合によっては発火に至る可能性もあります。定期的に接続環境を確認し、安全に未永くご使用ください。

また、無理なタコ足配線にすると、定格電力を超過したり、AC アダプターの自重によってタップから外れたりする場合があります。スパーク現象など火花が発生し火災に至る危険があります。延長電源タップを使用する場合、使用器具の取扱説明書をよく読み、安全にご使用ください。

▶ ソリッドカメラ ホームページ

<https://www.solidcamera.net>

- ・最新版ソフトウェアのダウンロード
- ・トラブル発生時の解決方法
- ・技術的な不明点

▶ ソリッドカメラ お問い合わせフォーム

<https://www.solidcamera.net/contact/>

困ったときはソリッドカメラで検索！

ソリッドカメラ

検索

よくある質問・FAQ検索のほか、より詳しい取扱説明書をダウンロードいただけます。